

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》福岡 麻紀

【概 要】

障害児教育の歴史や制度の変遷をふまえた、わが国の特別支援教育の基本的な理念やシステムについて概説する。また、個々の子どもの理解や指導・支援の実践について学ぶ。

【学習目標】

- ① 特別支援教育の基礎的知識を習得するために、特別支援教育の理念や法律、システムの現状を理解する。
- ② 個々の子どもに応じた教育を展開するために、子どもの特性とそれに応じた指導・支援の方法を理解する。
- ③ 特別支援教育の実践を知り、現状の把握と課題の検討をすることができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 特別支援教育の理念 1	授業内容説明。 特別支援教育をめぐる議論を提示し、グループで討議し発表する。	福岡
2	特別支援教育の理念 2	特別支援教育の法的位置づけ、特別支援教育と特殊教育との違いを説明できる。	福岡
3	障害児教育の歴史と現行制度	障害児教育の歴史と現行制度への意向の意義、現行制度の内容について説明できる。	福岡
4	支援システムの構築と法的整備	支援システムの構築の目的と概要を理解する。 支援システムの内容と法的整備について説明できる。	福岡
5	特別支援教育コーディネーターの役割	コーディネーターの導入の意図と経緯を理解する。 コーディネーターの役割と専門性を説明できる。	福岡
6	特別支援学校の実践	特別支援学校見学（新篠津高等養護学校） 課題①（見学レポート）	福岡
7	子どもの理解と指導・支援の方法 1	知的障害の特性と指導・支援の方法を説明できる。 発達障害の特性と指導・支援の方法を説明できる。	福岡
8	特別支援教育の教育課程	個々の子どもの多様な教育的ニーズに応じた教育課程の編成を理解する。	福岡
9	進学支援と就労支援	特別支援学校における進学支援と就労支援について説明できる。	福岡
10	個別の指導計画と個別の教育支援計画 1	個別の指導計画と個別の教育支援計画について説明できる。 個別の指導計画の作成方法を説明できる。	福岡
11	個別の指導計画と個別の教育支援計画 2	モデル事例を用いて、個別の教育支援計画を作成することができる。	福岡
12	子どもの理解と指導・支援の方法 2	高等支援学校の進路指導の実践を学ぶ。 課題②（講義レポート）	福岡 佐藤治人（特別講師）
13	専門機関や地域との連携	医療・福祉・労働等の等関連機関との連携について説明できる。 早期療育支援の意義について説明できる。	福岡
14	子どもの理解と指導・支援の方法 3	高等支援学校における知的障害の指導・支援の実践を学ぶ。 課題③（講義レポート）	福岡 本間大地（特別講師）

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
15	保護者との連携 まとめ	保護者との連携において教員に求められる知識や対応方法を理解する。 特別支援教育担当教師に求められる専門性を理解する。	福間

【評価方法】

課題レポート①～③(各10%)、レポート（70%）

【備 考】

教科書 ： 柘植雅義・渡部匡隆・二宮信一・納富恵子 「初めての特別支援教育〔改訂版〕」有斐閣 2014年

参考書 ： 文部科学省 「特別支援学校学習指導要領解説・総則等編」

【学習の準備】

- ・指定した教科書の次回授業テーマに該当する章を読んでおくこと。特別支援教育の動向について日頃より関心をもち、報道されている情報を確認し整理しておくこと。（80分）
- ・授業後は要点を整理し、疑問点は教科書や参考書を用い、次回授業までに調べる。分からない場合は必ず次回授業で確認すること。（80分）

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「特別支援教育に関する科目」（特別支援教育の基礎理論に関する科目）